

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
適切な 支援の 提供 (続 き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	◎ 100			工夫した点、改善点	○ 90		△ 10	
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	○ 80	△ 20						
	6 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	◎ 100			新しい活動をスタッフ間で話し合い取り入れているようにしている。	○ 90		△ 10	
	7 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○ 80	△ 20						
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	◎ 100							
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○ 80	△ 20						
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	◎ 100							
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○ 90	△ 10							

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
関係 機 関 と の 連 携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○ 90	△ 10							
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	○ 80	△ 20							
関係 機 関 と の 連 携 (続 き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	○ 80	△ 20							
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	◎ 100								
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	◎ 100								
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	◎ 100								
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	○ 50	○ 50		公園への外出を定期的に取り入れ、地域の子ども達と接する機会を作るようにしている。	○ 60	△ 20	△ 10	△ 10	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	△ 30	○ 50	△ 20	移動図書が敷地内に来てもらえる事で、地域の方に知ってもらい、触れ合う機会になっている様に思う。行事に招待できる計画も考えていきたい。					

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○ 90	△ 10			○ 90	△ 10				
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	◎ 100				◎ 100					
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	○ 80	△ 20			○ 70	△ 10	△ 10	△ 10		
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	◎ 100			日々、送迎時やノートで伝え合っている。保護者と伝え合った事は職員間で共有し話し合い共通理解に努めている。	◎ 100					
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○ 80	△ 20			○ 80	△ 10		△ 10		
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援					○ 60	△ 10	△ 10	△ 20	夏の交流会が久しぶりに開催され保護者同士の交流の場になった。	今後も計画、実施する予定。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	◎ 100				○ 90			△ 10		
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	◎ 100				◎ 100					
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	◎ 100			便りの配布やSNSで、定期的に行っている。	◎ 100				便りで活動の写真が見られて嬉しい。	
10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	◎ 100				◎ 100						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
非常時等の 対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○ 90	△ 10			○ 80	△ 10		△ 10	
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	◎ 100				○ 90			△ 10	
非常時等の 対応（ 続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○ 80	△ 20							
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○ 90	△ 10		スタッフ間での共有を徹底している。					
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○ 90	△ 10							
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	◎ 100			スタッフ間での共有を徹底している。					